

第10回 政策企画会議 会議概要

開催日	2022年3月30日（水曜日）
議 題	令和4年度の区政運営について
担当部署	企画部企画課

事案の概要

- 令和4年度の区政運営の考え方及び区政運営一年の流れ（PDCAサイクル）について、確認する。
（確認事項）
 - ・ 令和4年度の区政運営の考え方
 - ・ 庁内周知（依命通達）の内容

今後の方向性・結論

- 上記確認事項について了承し、令和4年度の区政運営について決定する。
また、拡大部長会にて各部長に周知し、各部長あてに依命通達を行う。

(案)

4 中企企第 1 号
令和 4 年 4 月 1 日

各部（次・局・室）長

副区長 白土 純

令和 4 年度の区政運営について（依命通達）

令和 4 年度は、区政の基本指針である中野区基本構想の「つながる はじまる なかの」の理念のもと、10 年後の目指すまちの姿を実現するための中野区基本計画について本格的に取り組んでいく年次である。

これまでに、区民や区議会と共に歩んできた歴史を振り返り、さらに前進させていくため、一つ一つの取組を着実に実施し、区政を粘り強く進めていかなければならない。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大などによる社会経済情勢の変化に、柔軟に対応し、「スピード感を持った対応」ではなく、「スピーディな対応」で不確実性の時代に対応する区政運営に取り組んでいく。そのためには、区民、事業者、区内の団体と様々な意見を交わしながら、協働・協創し、互いに多様性を尊重しながら、課題解決に向けて取り組んでいく。

区の目標と成果による区政運営は、すべての行政活動の基本方針であり、区の全ての資源を基本目標の実現に最も適する方法により管理し、活用することを原則としている。このことから、基本構想で掲げるまちの姿（基本目標）の実現を目指し、政策－施策－事業（政策体系）からなる基本計画を基に、区政運営を進めていく。令和 4 年度の区政運営に当たっては、下記に掲げる方針を基本とし、基本計画で定める重点プロジェクト、構造改革実行プログラム等の取組を政策課題として位置付け、取り組むこととする。

各部におかれては、これらの方針を基に、令和 4 年度の経営戦略を作成し運営を行うとともに、職員と共有して執行体制の整備を図られたい。

この旨、命により通達する。

記

1 中野の今、そして未来のために

- (1) 中野区基本構想を区政の羅針盤とし、常に基本構想に立ち戻り、方向性を確認し、取組みを効果的に進めていく。
- (2) 対話の徹底と現場主義に基づき、方針や取組を変更する判断に至っ

た場合は、区議会、区民に対して、丁寧かつ明確に説明し、十分耳を傾けながら、柔軟な対応を行う。

- (3) 国や東京都の動向はもとより、技術革新や新たなサービスなどへの感度を高め、従来の慣行や既成概念にとらわれることなく、区民本位の立場で区政運営に取り組む。
- (4) 区民や事業者との協働・協創を一層図り、中野区基本計画で示した3つの重点プロジェクトによる取組の実効性を高めていく。
- (5) 3つの重点プロジェクトを今後の区政運営の3本の柱として、ポストコロナを見据えた政策を推進していく。

2 第一の柱 子育て先進区の実現に向けて

- (1) 子ども・子育てを応援し、誰一人取り残さない教育を実現するための取組は、子育て先進区を目指す区が国や東京都をリードしていく。
- (2) 子どもの権利に関する条例に基づき、子どもの視点に立ち、子どもの意見も尊重した対応等を実施していく。
- (3) 子どもの貧困対策を充実し、教育機会や体験の格差の解消に取り組む。

3 第二の柱 地域包括ケア体制の確立に向けて

- (1) 中野区地域包括ケア総合アクションプランにより取組を進め、中野が、都市部における地域包括ケアの一つのモデルとなることを目指していく。
- (2) 生きづらさを抱える人や個人、世帯の複雑化する生活課題を解消するため、重層的支援体制の強化に取り組む。
- (3) 単独の相談支援機関では解決が困難な事例は、事業者や各種機関との連携により解決を図り、地域ケア会議の開催を中心として、連携力を高めていく。
- (4) 新型コロナウイルス感染症の長期化により増えている、生活困窮者を支援していく。

4 第三の柱 活力ある持続可能なまちの実現に向けて

- (1) 活力ある持続可能なまちの実現に向けて、多様性を認め合い、様々な主体による連携・協力によりソフト・ハードの両面でまちのデザインを描いていく。
- (2) 厳しい状況にある区内中小企業等の経営を支援し、事業活動の活発化を図る。
- (3) 中野駅周辺のまちづくりは、駅とまちをつなぐ、歴史と未来をつなぐまちづくりとして、ミューラルをはじめ、文化・芸術を育むエリアと、その発信拠点にしていく。

- (4) 防災まちづくりの推進の取組として、東京都の首都直下型地震の被害想定の見直しを踏まえ、区としての備えを着実に進めていく。
- (5) 「中野区ゼロカーボンシティ宣言」の実現のために、区民や事業者との協働・協創を進めていく。

5 持続可能な区政運営の実現に向けて

3つの柱を進めるために、次の3点に取り組む。

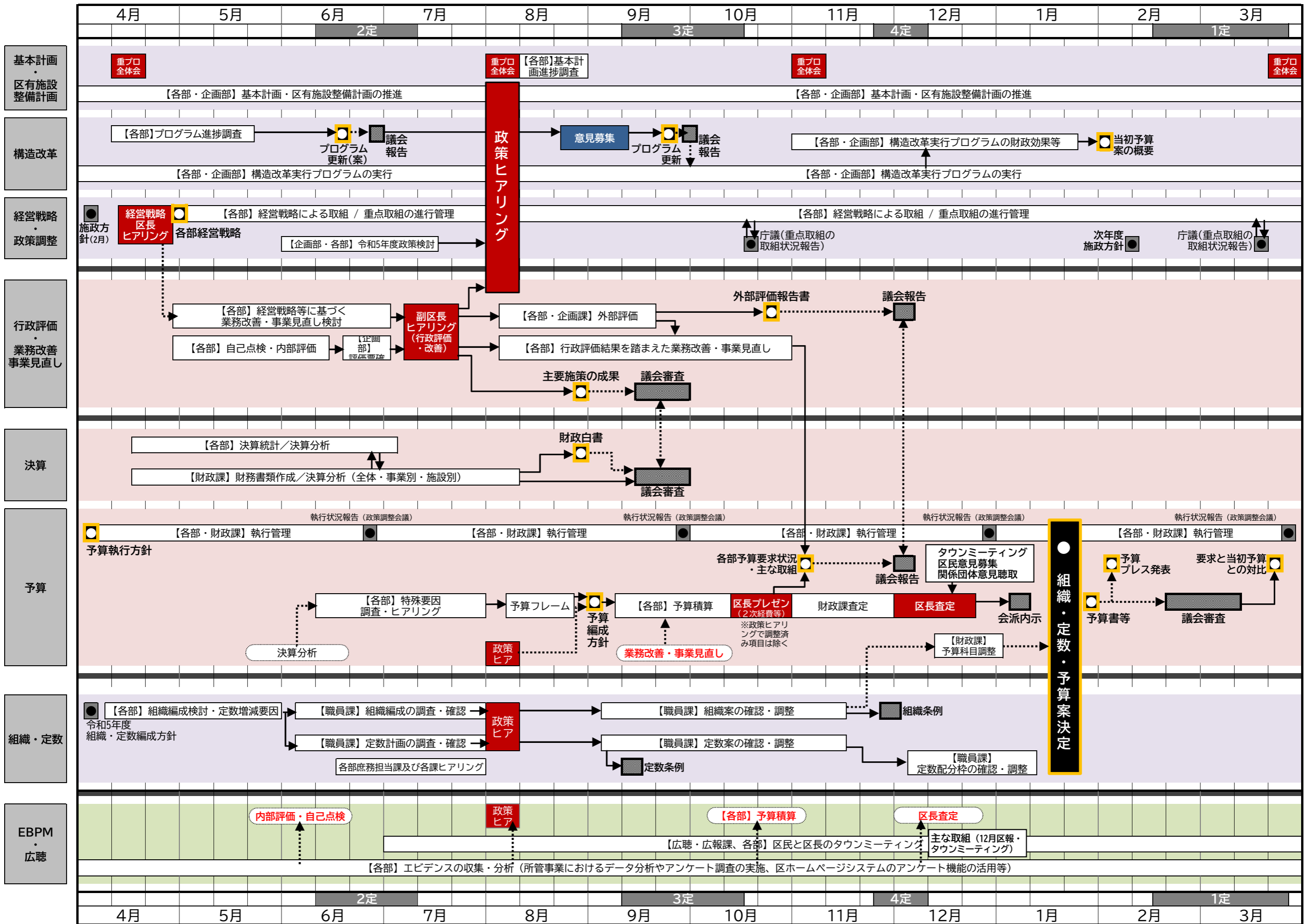
- (1) 構造改革の推進、DXの推進
- (2) 情報発信力の強化と広聴機能の充実、危機管理力の向上
- (3) 職員の育成、多様な人材の確保

6 区政運営一年の流れ

各部署は、前述1～5の施政方針及び各部署の政策課題を踏まえて、単年度の部署の目標、経営戦略及び事業の改善の項目を設定し、令和5年度以降の施策の展開も視野に入れながら、PDCAによる区政運営を行う。また、区政運営一年の流れ（PDCAサイクル）を別添のとおり定める。

令和4(2022)年度 区政運営一年の流れ(PDCAサイクル)

令和4年(2022年)4月1日
企画部



(凡例) ■ 成果物(公表を前提) ● 成果物(主に内部) ■ 区長調整等 ■ 議会 作業等 再掲 → 作業手順 → 因果関係・相関関係